

『アンカース・エンブレイス　〜死せる聖女 システイーナ〜』

□トラック1 『黄泉の国の聖女』

(//聖堂)

(◆::静かで、ゆっくりとダウンナーで色っぽく)

(SEゝ::聖堂内ではエコー、以下)

(SEゝ::石床足音)

【正面・普通】

これは……めずらしい、お客さまでらっしゃいますこと……
死者の国の奥深くで……生きているかたと、お会いできるなんて……

このような場所まで、いったい、なんの御用でしょうか？
わたくしは、死せる聖女システイーナ。

地上で千年の時を暮らし、生きることには飽いてからは、
この冥界を支配する神に仕え、
黄泉（よみ）の聖堂で祈りの日々を過ごしております。

ここは地上で戦い、
その勤めを果たした战士们の安らかに眠る場所。

あなたが死に別れた愛しいかたをお探しであれば、
他をあたられるとよいでしょう。

離別の谷に、病苦の沼、そして悲壮の峰。

この冥界には、死者の眠る場所がたくさんございます。

ふふっ……それは……失礼いたしました。

……わたくしに会うために、遠路はるばる、ここまで……

【正面・近く】

深いご事情があるようですね。

よろしければ、お聞かせ願えますか…？

ふふっ…：そういうことですか…：

確かにお話は、うけたまわりました…：

おっしゃるとおり、まがましい呪いの力が、
あなたの体を拘束して、いるようですね…：

剣士のあなたが、つるぎを振るう力を奪われてしまったのは、
さぞ、おつらいことでしょう。

あなたのお見立てのとおり、わたくしであれば、
その呪いを、お祓（はら）いすることができません…：

ただ、そのためには――

(SE…：外套を広げる衣擦れ音)

わたくしを――『死せるシステイーナ』を、
あなたの手で、抱いていただく必要があります…：

目をそらさなくても、構いませんよ。

あなたにお見せするために、素肌をはだけておりますの。

抜けるように白い肌、高く張った両の乳房、

そうしてくびれた腰から、大きく盛り上がったお尻まで、

わたくしの淫らに熟れた体を、どうかご覧くださいませ…：

んふふっ、あまたの殿方の劣情を荒々しくかき立てて、
けだものと変えてまいりました。

ですが、千年を生きたこの体も、すでに死して、
冥界の神へお捧げいたしました。

それゆえ、今は、この黄泉の聖堂にて過ごしております。

それでも、あなたが構わなければ、

ともに夜をお過ごしくださいませ……

ふふっ、わたくしが死せる聖女だと、
いまだに、信じられないのですか？

【正面・密着】

では、このまま、

わたくしを抱きしめてくださいませ——

(SE：ハグぎゅっ音)

【左・密着】

ん、んんっ、殿方に抱きしめられるのは、
いつぶりでしょうか？

遅しいお体あ、ぞくぞくいたしますの……

では、わたくしからも——

(SE：ハグぎゅっ音)

ぎゅ、ぎゅう、ぎゅううう……v

わたくしの抱きごこちは、いかがですか？

柔らかく、すべらかで、人肌の感触でございますが、

同時に…ひんやりと、つめたく…不思議な感じが、いたしませんか？

【左・密着囁き】

もちろん、心臓も動いております……

【正面・密着】

このような、わたくしでも、抱いてくださいますか？

はあ、はあっ、わたくしは、あなたの熱い血潮の滾りに、
触れてみとうございます。

んふ、唇が…近くて……ん、んん……んちゅ、ちゅ……

ちゅば…ちゅ…んちゅ…んぶ、はぶう…
んちゅ…ちゅぶ、ちゅば…っ…

んぶはっ…はふ、あふう…
とても素敵なキスでございました…v

ねっとりといやらしくて…はぁ、はぁっ…
猛り狂うオスの情熱を粘膜越しに感じました……v

ここまで激しく求められたのは、
ひさかたぶりでございます…

これが…あなたのお答え—
そう思っ、よいでしょうか…？

ありがとうございます…では、今宵のお相手を…

(SE…：ペールが地面擦れ音)

【正面・近く】

こちらです…お暗いので、足元にお気をつけて…
さ…どうぞ…

(SE…：石床足音、5秒↓フェードアウト)

□トラック2 『豊かな乳房で、聖女の祝福を』

(//地下室)

(SE♪::暖炉の火の音)

【正面・近く】
さ、ベッドで、楽にしてください。

【左・近く】
んふふっ、先ほどのキスで興奮してしまったのですか？
すでに股間を大きくなされておりますね。

【左・密着】
ご遠慮なさらずに…こちらへ、どうぞ。
男女の淫らかな営みは、冥界の神の祝福でございます……
わたくしが死して、なお、そこにありつづける
悦びを感じていられる、唯一の行為なのですから……

(SE♪::暖炉の火の音・フェードアウト)
では、大きくなった逸物（いちもつ）を取りだしまして、
はぁ…はぁっ…指先を竿先に絡めて――

(SE♪::手コキ音ゆっくり、以降)
ゆっくりと手を上下させて、しゅこしゅこ、しゅこしゅこ、
あなたのお持ちものを、ねっとり、扱いてまいりますね…

【左・密着囁き】
んふ、さ、もっと体の力を抜いて、
わたくしにすべてを委ねてくださいませ……
しゅこしゅこ、しゅこしゅこ。

【左・密着】

亀頭に、指先を淫らに巻きつけて、
しゅこしゅこ、しゅこしゅこ。

はあ、はあっ……熱くて、硬くてえ……素敵です……
手を動かしているだけで、高ぶってしまつて、
しゅこしゅこ、しゅこしゅこ……んふ……くふう……
ぬ、濡れてきて、しまいますう……

ふう……ふうっ……もつと、ねっとりど、
しゅこしゅこ、しゅこしゅこ、いやらしくご奉仕させていただきます……

(〳〵授乳手コキ)

【正面・密着】

あ……お胸を、じつと見つめられて……恥ずかしいです……
では、せっかくでございませすから、あなたの逸物を扱きながら、
乳房を、ん、んんっ、お口に……さ、どうぞ……v

張ったおっぱいに溜まった母乳を、
ご存分に、お吸いになつてくださいませ……
はあ、はあっ……あひ、んひい……ん、んんっ……

んう、んうう……んふ、くふう……強く吸われると、
おっぱいから母乳、溢れて、とっ、止まりません……っ……
んい、んいい……んっいい……んふひい……

ぜえはあ、はあ……はふ、んふう……
さ……もつと、吸ってくださいさつて、大丈夫ですよ……

わたくしはミルクを差し上げながら、
そそり勃ったあなたのお持ちものを、しゅこしゅこ、しゅこしゅこ。

はあ、はあっ、赤んぼうのように、甘えてくださつて、いいですよ。
しゅこしゅこ、しゅこしゅこ。

おっぱいにお顔をうずめて、ただ柔らかさに

はあ、はあっ、身を委ねてください。しゅこしこ、しゅこしこ。

んふふっ、とってもお可愛いです。

屈強な剣士のあなたが、まるで赤子のように
わたくしの乳房に甘えながら、男性器を弄ばれて。くすすっ♪
しゅこしこ、しゅこしこ。

はあはあ、凄まじい勃起ぶりですっしやいますね。

竿全体が美しくそり返って、先走り汁が垂れ流しですね。

溢れたおツユを潤滑油代わりにして、しゅこしこ、しゅこしこ。

わたくしに授乳されながら、されるがままのあなたv

とっても愛らしくて、魅力的ですよ。しゅこしこ、しゅこしこ。

ふふっ、陰囊が引き上がって、

そろそろ、お射精しそうですございますね。

それでは手の動きを、すこしずつ速くして――

(SE♪：手コキ音激しく、以降)

しゅこしこ、しゅこしこしこ。

手首を使って、しゅこしこ、しゅこしこしこ。

んふっ、あなたの竿がビクビク震えて、

カウパーが垂れ流しですね、んふふっ。

しゅこしこ、しゅこしこしこ。

情けないお姿でも、わたくしは、すべてを受け入れます。

安心してくださって、大丈夫ですから。

しゅこしこ、しゅこしこしこ。

あんんっ、すごいそり返りっぷりで、はあ、はあっ、

竿全体が淫らに脈打っておられますねv

(SE♪：手コキ停止)

ここまでガチガチにされる殿方も
久しぶりでございますよ。いつ射精しても、
おかしくなさそうですね。んふふふっ♪

では、座って向かいあったまま、腰同士を密着させて、
ん、んん——

(〳〵対面座位・素股)

【右・密着】

はあ、はあっ…あなたの竿に押し付けた、んう、んうう、
わたくしの股のところ、ぐしょぐしょになっておりますの、わかりますか…？

【右・密着囁き】

ふう、ふうっ、あなたにミルクを与えながら、
手で逸物を扱っているうちに、こんなに濡れてしまっ

(SE〜：スマタ音ゆっくり、以降)

【右・密着】

ん、んんっ…はふ、くふう…くう、くううっ…
濡れた股を、あなたに、ぐっちゅぐちゅう…
淫らに擦りつけて、しまっ…んい、んい、んうう…っ…

こんな…腰の動きが…とっ、止まりませんの…
はひ、ふひい、んい…おふ、ほふう…な、中に入れてえ…
わたくしの膣で、お扱きしないとけませんのに…
んひ、ふひい…んい、んい…ぜえはあ、はあっ…

んい、んいお…んっお、ふっお…おっおお…
遅しい竿の根元が、わたくしのあそこに、
ずっちゅずちゅ、擦れてえ、ふひ、んひい、たまりませんの…
くひ、んひい…んっい…っ…

(SE〜：スマタ音激しく、以降)

ひん、ひんひん、ひんんっ、腰い、いやらしくぶつけて、
ひふ、くふう、濡れた股で、あなたの逸物を、ん、んん……
めちやくちやに扱きたてて、しまつてえ……くひ、はひい、んいっ……

あ、ああ……あっああ……このまま、果ててしまいます…

まだ、まぐわつてもいないのに、はあ、はあ、申し訳ございません…
ですが、我慢できなくて、んい、んい、んひい、んはひいんっ

あんんっ、あなたの竿も、ビクビクと跳ねて、

はあはあ、もう出しそうなのですね…で、でしたら……

さ、このまま一度、気持ちよく、お出しください…

んい、んい、んいうッ……!

【右・密着囁き】

たっぷりと貯めた、濃い精液い、出して

出して出して出してえ　思う存分、吐き出してくださいませえ

【右・密着】

わ、わたくしも…いつ、イかせてえ、いただきますう、

ですから、ご一緒にいい……くふ、んふう……も、もうっ…!

【正面・密着】

いつ、イクう…イキますの…っ……

んい…んいっ…んっいいいいいい——ッ

(SE…:スマタ停止)

(SE…:射精音)

んぶ、うぶふう…んっぶぶふうう…お顔に…ん、んんっ……

あなたの子種が…びしゃびしゃと…たっ、たくさん…っ……!

んふ、はふう…んえ、んええ…ぜえはあ、はあっ……

ん、んんっ……冥界一の美女と呼ばれる…

この、死せるシステイーナの顔が…精液でえ……

ドロドロで、ございますうう……ふう、ふう……

あぶ、んぶう、ですが……ぜえ、はあ……はあ……つ……
この淫らで、甘い香りいい……すくはく……すくはく……
ふう……ふうつ……ずっと、浸っていたくなりますわ……v

(SE：暖炉の火の音・フェードイン)

【左・近く】

顔にべっとりついた精を、指先で拭ってえ、
んん……んんっ……んっんんっ……

【左・密着】

たっぷりと絡んだものを、んぢう、ぢうる……
ぢう、ぢううツ……んぢうるるうう——ツ……v

【左・密着囁き】

あふう、お口の中あ、濃厚なあなたの子種で、
んぢゆる、ぐぢゅじゆる、んぢうじゆるう、はあはあ、
淫らで、素敵なお味でございます……ふう、ふうつ……

このまま……すべてえ、ごつくん……と……
お飲みいたしますね……んく、んくっ……んくく……んごくっ……

【左・密着】

ぷはあ〜っ……ぜえはあ、はあ……
熱くて、濃厚な精が喉に絡んでえ、
胃の腑にそのまま落ちてゆくのがわかります……
あ、あふあ……あはあ、ああ………v

(◆：色っぽく、ほんのり軽く、けふ、とゲツプ音くださいませ)

【左・密着囁き】

けふう……っ……v
ふう、ふうつ……ごちそうさま……です………v

遠き国より、いらっしやるかたの子種は、

偉大なる冥界の神のお恵みでございます。

ぜえはあ、はあ…大変、おいしゅうございましたあ…♪

□トラック3 『美しき獣と化した聖女とのまぐわい』

(//地下室)

(SE・：暖炉の火の音)

【正面・密着】

んふふっ、出したばかりですが、
もう、こんなに大きくなって…ごくっ…はあ、はあっ…

わたくしのような、死者に欲情してしまうなど、
本当は、いけないことなのですよ…あふ、んふう…

ですが、呪いを祓うためですものね…くすすっ…

それに、わたくしも、あなたのような
精气溢れる逞しい殿方に、もっと激しく抱かれて、
何度でも、子種を注いで欲しいですv

(SE・：暖炉の火の音・フェードアウト)

【左・密着】

そのためには、あなたに、もっと、もっと、
高ぶっていただかないと、いけませんね。ふふっ♪

【左・密着囁き】

はあ、はあっ、先ほどは手でご奉仕いたしましたから、
こんどはお耳へ、冥界の神の祝福をv

【左・密着】

甘い吐息を、入り口へ。ふゝ、ふゝ、ふゝ。
ねっとりとお耳の奥まで、ふうっっ、ふうっっv ふううっっッv
はあはあ、今、ビクンって、されましたね。
感じてくださって、うれしいです。

では、このままお耳の外側を、軽く甘ぐわえしまして、

あゝむあむ、はむ、はむむ、あむむ。

お耳をほぐすように、はゝむはむ、あむ、あむむ、はむむっv

はふ、あふう、舌を伸ばして、下から上へ、
れろお、れろろっ、んれろろお、んれるじゆる、れろろおv

ふう、ふうっ、唾液たつぷりで、お耳の穴へ舌先を押しこんれえ、
んじゆる、ちゅぶ、ぢゅば、ちゅぶぶ、ちゅばちゅぶ、じゅぶぶっv

奥まで、ねちっこく混ぜて、ぢゅぶ、ぢゅば、ぢゅぶぢゅば、
んぢゅぼ、ぢゅばぢゅぶ、んぢゅぶ、じゅぶじゅるう…v

たつぷり溜まったおツユを、はあはあ、んぢう、ぢうる、
お啜りして、きれいにいたしますね、んぢう、ぢうう、んぢうるるv
んっぢうるるうう——ツv んぷはあゝっ♪ ぜえ、はあ、はあっ…v

【正面・密着】

んふふっ、緩みきったお顔なされて、
随分とよかったご様子ですねv

では、反対のお耳も——

【右・密着】

淫らなご祝福を…はあはあ、はあ…
たくさん感じて、お射精の準備を整えてくださいませ。

たつぷりの吐息を、入り口あたりに。ふゝ、ふゝ、ふゝ。
さらに奥へも、ふうゝっ、ふうゝっv ふううゝゝツv

では、お耳の外を、そっと、くわえて、
はゝむはむ、あむ、はむむ、あむはむう、
お耳のふちをやわらかく、あゝむはむ、はむ、はむむ、あむむっv

【右・密着囁き】

もっど気持ちよくなつて、はあ、はあ、
出す前の精液、ぐつぐつ煮えたぎらせて、くださいね。んふふっ♪

【右・密着】

んれろ、れろお、このまま伸ばした舌で、れろる、れろろお、
お耳の外を舐めまわしれえ、れろじゆる、んれろお、れろれる、
いっぱいトロトロになってくださひ、れろろお、
んれるじゆる、れろろお、んれるれろ、れろじゆるるうう…v

はふうっ…じゆる、んじゆる、そうしてツユダクの舌先れえ、
お耳の穴を、じゅぶ、ちゅぶ、ぢゅば、いっぱい混ぜ捏ねへえ、
ちゅぶぶ、ちゅばちゅぶ、あげふうv

ぢゅぶ、ぢゅぼ、じゅば、んじゅぶる、
ぢゅぶじゅぶぢゅるうう、お耳の中までえ、ぢゅぶ、ぢゅば、
ぢゅぶぢゅば、ぢゅぶ、ぢゅぶじゅぶ、ぢゅるる、んぢゅぶるう…v

んふは…っ…仕上げにお耳に絡んだ唾液を――

んれろる、れろろ、ぢう、ぢうう、んぢうるっ、
吸っへええ、ぢううっv んっぢゅるるるうっv

あふはあっ♪

【右・密着囁き】

ぜえはあ、お耳をねっとり、じっくりとおしゃぶりされて、
股間のいきり勃ちっぷり、凄まじいですね。くすくす、くすすっ♪

【右・密着】

それでは…冥界の神の恩寵を、あなたへ…
あふ、はふう、わたくしの体をお捧げいたしますね…v

(//対面座位で)

【正面・近く】

あなたは、座ったままでいてくださいませ…
わたくしが真正面から近づきまして、ふう、ふうっ…

こうして、座ったまま、ん、んんっ、
あなたの逸物を中に受け入れさせていただきます…v

んふ、くふう、緩みきった膣の入り口に、んう、んうう、
亀頭の膨らみが当たって、はあ、はあっ、この熱さに、硬さあ、
たまらなく感じてしまっ、ふう、ふうっ、
わたくしが我慢できません…っ……

ああっ、生ける者と契りを結ぶなど、いつ以来でしょうか…
では、あなたの呪い、わたくし、
死せる聖女システイーナが、お祓いたしますー

(SE←::挿入ぐちゅ音)

【正面・密着】

んい、んいい、んっいいい…っ……くふ、んふう……
わたくしの内側、雄々しく野太いお持ちものに貫かれてえ……

(SE←::挿入ぐちゅ音)

くふ、んふう…ん、んん……奥までえ……
んっう…ふっうう……んっんううううーッ……v

ぜえはあ、はあ……最後までえ、はふ、くふう、
いただきます、ございます……ん、んん……んっんん……

【左・密着】

では、このまま腰をゆっくりとー

(SE←::ピストン音ゆっくり、以降)

んう、んう、んうう…っ……わたくしのお腹の中、
ぐच्चゅぐちゅ、くふ、んふう、混ぜられてしまっ、
んい、んいい…す、すごい、これえ…すごいです……

荒々しく猛った、あなたの逸物に、くひ、んひい、

わたくしの膺が蕩けさせられて、気持ちようございますv
んう……んっう……んっん……くひ、ふひい……んっいいッv

中の感じやすい場所を、たくさん混ぜ捏ねられて、
んっあ、ふっああっv んい、んいい、ふっいい、
んっいい……いい、いいです、たまらなくキますう……
んひ、ふひい、んっいい、んっひいんっ……v

【左・密着囁き】

あそこが溶けてしまいそうで、わたくし、ケダモノのように……
ふお、ふおお……おふおッ……お、おっお……んっお……
乱れて、しまいます……んっあ、ふっああ……っ……v

【左・密着】

腰同士い……くひ、んひい……淫らにぶつかるときに……
ふう、ふうっ……奥から溢れた蜜が、シートをどろどろに汚して、
はしたないですが、やめることなど、できません……っ……
くふ、んふう……んい、んいい……んっいいッ……ん、んんっ……v
ぜえはあ……もつと……もつと……強く、激しく、くださいませv
んう、んうう、んっふうッv わたくしも腰振りい……
んい、んいい、止まりませんわv ん、んんっ、んっんんっv

(SE…:ピストン音激しく、以降)

……お、おお……これ、よすぎで……
おふ……おふおお……う、ううっ……死せる聖女たる、わたくしが、
このような下劣な……ケダモノのごとき声を……

んっう、んっうう……お……おっ……おっお……ほっおお……
だ、ダメえ……これは、いけません……っ……v

いやらしく腰をぶつけながら……んっお……んっおお……
唇から、獣のような声が……溢れてしまつて……え……v

んっお……んっおお……お、おっ、おおおっ……

でっ、出る…出るう…ん、んっ…んっおおんっ…
オホった声え…出してしまいますう…v

くう、くううっ…抑えないと、いけませんのに…
冥界の神に仕える死せる聖女のわたくしが…
こんな浅ましいケダモノのごとき…喘ぎをあげるなど…

で、ですが…お、おお…おっおお…
激しすぎてえ…もっ、もうっ…無理いいッ…!

【正面・密着】

お、おっ…おおっ…おまんこ、ぐちゅ混ぜにされてしまって、
ほお、ほおお…ほっおおっ…はしたない喘ぎ、止まりませんの…

ぶっとい、あなたのもので、かき回されて…
らめ、らめえ…おひ、ほひい、んいい…んっいい…v

【右・密着】

…お、おっ…おお…中、すご、すごひ…
ぶっといので、ズボズボ抜き差し、らめ、らめえ…

おまんこ、よすぎれええ…ひお、ひおお…
おひおおっ…わっ、わけえ、わからなひいい…!

【右・密着囁き】

んっお…おっお…ふっおお…
奥にい、子宮にいッ…あなたのオスがあたって、お、おお、
ぐりぐりい、挟られて…んい、んいい…んいおお…

【右・密着】

お腹に、ひんひん、ひんん、
直接、あなたのお持ちものが震えているのが、
伝わってまいります…v
ほっお…ふっおお…おっ…おお…んっ…!

熱い滾りが、竿の中を溢れてきて、らっしやって…

はあはあ、出されるのでございますね、もちろん、構いませんv

わたくしにたっぷりと、あなたの精を、

力のみなもとを、注いでくださいませええ…v

いっぱい腰をお振りして、んい、んいい、んっいい、

わたくしの膣で、あなたの子種をお搾りいたしますっ、

ん、んん…んっお、ほっおお…おっおお…

ひぐ、ふぐぐ…んひ、ふひい、んいい…

感じすぎた膣う…ぶるぶる震えてええ…ん、んんっ…

くひ、んひい、あなたの精を荒々しく吸って、しまっつてえ…

う、うう…んっううんっ…v

【右・密着囁き】

出して、出してくださいませ…お、おおっ…

猛り狂う欲望のすべてを、このわたくし、システイーナに

ぶつけてくださいませええ…v

【右・密着】

…お…おお…んっお…おっおお…

わたくしの奥まで、激しく…抉られて…くふ、んふう…

い、イグう…イギますのお…あなたも、一緒に…

このまま、わたくし、果てながらああ…っ…！

呪いとともに、精を激しく、お搾りいたしますう…v

んう、んうう…んっううっ…んっおおおおおお——ツvvv

(SE…ピストン停止)

(SE…射精音)

【右・密着囁き】

んえ、んええ…あふええ…熱くて、濃いので、

たっぷりと流しこまれてえ、んう、んうう…んっううう…

す、すごひです…一度、出しておりますのに…

これほど、たくさん……お、お……膣も子宮も……
わたくしの下腹部、あなたの種で……いっぱい……
ふう、ふう……とても、満たされた気分です……

【右・密着】

ですが、まだ、出せそうでございますね……
でしたら、もう少し……

(SE…:ピストン音激しく、以降)

……ん、んっお……おっおお……そ、そうでございます……
ほぐれた、わたくしのメス穴を……おっ、おっおお……
めちやくちゃにかき混ぜて、犯し抜いて、くださいませ……

おっ、おっ……おっおお……ほっお……ふっおお……
いい、いいの、気持ちいいっ、おまんこ、ぐちゅ混ぜえ、たまりませんの
死せる聖女といえども……あお、あおう、あおおっ……
今は、いつ、一匹のメスでございますうっっっ

はお、はおお、はっおお……イグう、またあ、イグうんっ
ほっおおおおお——っっ

(SE…:ピストン停止)

(SE…:射精音)

お、おお、また濃いのにびしゃびしゃあ、おまんこの底にい
ふい、ふい、んいっ、ですが、もう少し

全て出してしましましょう。

このシステイーナに、冥界の神のお力を——

(SE…:ピストン音激しく、以降)

おっ、おっ、おっ、おおっ、
イグ、イグイグイグうっ アグメっでえ、あなたの子種、
空っぽになるまで、お搾りいたしますうっ

おっ、おっおおんっ……………v

おっほおおおおおおおお——ツvvv

(SE♪…ピストン停止)

(SE♪…射精音)

【右・密着囁き】

お、おお……………またあ、びゅぐびゅぐ…溢れてええ……………

こなな…っ…ふい、ふい…お腹が、内から張ってえ……………

んい、んい…んい…んい…んっええ…ええ……………v

【正面・密着】

はあ、はあ……………とつても素敵な夜で……………はあ、はあ……………

ございましたあ……………はふ、くふう……………

ふう、ふうっ……………溜まった精のぬくもりだけで…お、おお……………

よ、よくなつて…しまつてえ……………くふ、んふう……………

んあ、んああ……………んっああッ……………んっはああああ——ツvvv

…ぜえ、はあ……………はあ…っ……………う、うう……………

じつと見ないでください、ませ……………

【左・密着囁き】

ひとりだけで、果ててしまつて……………

はふ、あふう……………は、恥ずかしゅうございます……………

(SE♪…暖炉の火の音・フェードイン、以降バックに)

【左・密着】

あ……………そのまま……………繋がったままで……………

はあ、はあ……………おやすみいたしましょう……………v

ん、んんっ、まだ、奥であなたのお持ちものがビクン、ビクンと大きく跳ね躍って、なんという活力、生命力でしょう……………

これで、あなたの体を拘束しておりました
呪いも祓うことができました……ふう、ふうっ……

今は激しい交わりで、ぐったりなさっておいでですが、
ゆっくりとお休みいただけましたら、
つるぎを自在に振るうことのできる、元のお体に戻ることと思います。

んふふっ、不安でございますか……？

死せる聖女にいだかれて、眠ってしまうことが……

大丈夫ですよ、ご安心ください。

しばしの休息ののち、あなたは、必ず目覚めます……

【左・密着囁き】

永遠（とわ）の眠りにつくことは
ありませんから……んふふふっ……

また、その逞しいお体で、
わたくしのことを抱いてくださいませ……
きっとうございますよ……んちゅばっ……v

(SE♪：暖炉の火の音・フェードアウト)

※本作の内容の一部および全てについて、転載、転用、編集、改変、販売などの二次利用はお控えください。